

道路事業事前評価調書

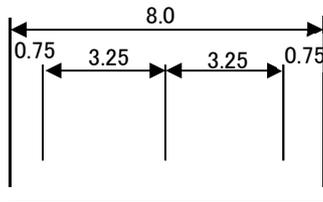
路線・河川等名	一般国道312号 (大宮峰山インター線)	事業名	道路新設改良事業	補助・単独の別	補助
事業主体	京都府	事業箇所(区間)	京丹後市峰山町新町 地内		
事業概要	目的	<p>一般国道312号は、京都府宮津市から京丹後市を経て兵庫県姫路市に至る道路で、京都府丹後地域においては山陰近畿自動車道と一体となる東西幹線道路である。</p> <p>当該区間は、山陰近畿自動車道の内、平成27年度より直轄権限代行事業中の大宮峰山道路((仮称)大宮峰山IC)へのアクセス道路として整備し、地域の活性化に大きく寄与するものである。</p>			
	内容	<p>整備延長：L=1.2km 計画幅員：W=6.5(8.0)m 2車線 一部歩道あり 事業費：約9億円</p>			
	上位計画等	明日の京都 丹後地域振興計画			
	スケジュール	着手年度：平成29年度 完成目標：平成36年度			
事業の社会経済情勢及び地元情勢等	<p>○平成27年度より、山陰近畿自動車道の京丹後大宮IC～(仮)大宮峰山ICが大宮峰山道路として国土交通省による直轄権限代行で事業化。</p> <p>○平成28年10月30日に、山陰近畿自動車道の与謝天橋立IC～京丹後大宮IC(野田川大宮道路)が開通。</p>				
事業の有効性	<p>○(仮称)大宮峰山ICは、市街地からやや離れた地点に計画されており、道路は、農作業等の交通に対応できる程度のものしかないため、本事業により交通を地域内幹線道路の一般国道312号、482号方面へ円滑に誘導できる。</p> <p>○京丹後市域には、温泉や海水浴場をはじめ魅力的な観光資源が多数存在しており、アクセスが改善される観光地で入込客の増加による経済効果が期待できる。</p>				
事業の効率性等	<p>○国道312号を利用する交通が高速道路経由と分散され、交通渋滞の緩和からCO₂排出量の削減効果が見込める。</p> <p>○古墳、遺跡、城跡等が存在する地域であり、教育庁文化財保護課と連携して文化財の発掘調査等の適切な対応を図る。</p>				
総合評価	本事業は高速道路等と一体となった道路網の整備を図るため、新規着手の必要がある。				



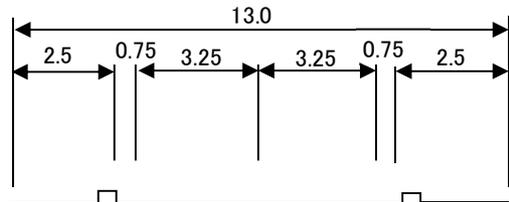
【広域位置図】



【位置図】



【計画横断図】 歩道なし(単位m)



【計画横断図】 歩道あり(単位m)



【現況写真】

道路予定地付近



【現況写真】

国道 312 号長岡大橋交差点

わ
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成29年 2月 8日		
		作成部署	建設交通部 道路計画課		
事業名	一般国道312号(大宮峰山インター線)道路新設改良事業		地区名	京丹後市峰山町新町 地内	
概算事業費	約9億円	事業期間	平成29年度～平成36年度		
事業概要	道路築造 L=1.2km、W=6.5(8.0)m 一部両側歩道				
目指すべき環境像	通過交通の分散による渋滞緩和により、車両の交通環境が改善する。 古墳等が存在する地域であることから、埋蔵文化財保護に適切に対応する。				
関連する公共事業	国道312号大宮峰山道路建設事業(国土交通省)				
評価項目		施工地の環境特性と目標		環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">主要な評価の視点</td> <td style="width: 20%;">選定要否</td> </tr> </table>					
主要な評価の視点	選定要否				
地球環境・自然環境	地球温暖化(CO ₂ 排出量等)	○	国道312号は国道482号交差点をはじめ随所に交通渋滞が発生し、CO ₂ 排出量が大きくなっていることから、削減する必要がある。	高速道路インターチェンジのアクセス道路整備で国道312号の交通渋滞を緩和し、CO ₂ 排出量の削減を図る	4
	地形・地質				
	物質循環(土砂移動)				
	野生生物・絶滅危惧種				
	生態系				
	その他				
生活環境	ユニバーサルデザイン	○	沿線の内、既成集落から国道までは、小学校も存在することから歩道を整備する必要がある。	バリアフリー構造の歩道を設置し、誰もが安心・安全に通行できる歩行空間を整備する。	5
	水環境・水循環				
	大気環境				
	土壌・地盤環境				
	騒音・振動				
	廃棄物・リサイクル				
	化学物質・粉じん等				
	電磁波・電波・日照				
	その他				
地域個性・文化環境	景観		古墳、遺跡、城跡等が存在する地域であることから、埋蔵文化財保護には適切に対応する必要がある。	文化財保護課と連携して文化財の発掘調査等の適切な対応を図る。	3
	里山の保全				
	地域の文化資産	○			
	伝統的行祭事				
	地域住民との協働				
	その他				
外部評価					